

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年3月10日（月）

2 確認箇所

- (1) 6号機原子炉建屋（図1）
- (2) 雑固体廃棄物焼却設備（図1）

3 確認項目

- (1) 6号機原子炉建屋における地震計の設置状況
- (2) 雑固体廃棄物焼却設備の現況

4 確認結果の概要

(1) 6号機原子炉建屋における地震計の設置状況

福島第一原子力発電所では、原子炉建屋や自由地盤^{*}に地震計が設置されている。観測結果は発電所の運用（関係各所への連絡・公表、地震後の区分に応じた点検）、建屋の振動特性分析及び過去の地震記録との比較等に利用されている。今回は、6号機原子炉建屋に設置されている地震計の更新作業が令和6年2月に実施されたことから、更新後の地震計を確認した。（前回確認：令和5年6月5日）

- ・6号機原子炉建屋地下2階（基礎版上）に設置されている地震計が更新されていた。（写真1）
- ・確認した範囲では、地震計及びそれに接続するケーブルに異常等は認められなかった。（写真2）

^{*}自由地盤：構造物（建物など）が建っていない地盤のこと。ここに設置される地震計は、地面そのものの揺れ（＝自由地盤面の地震動）を観測する目的で使われる。

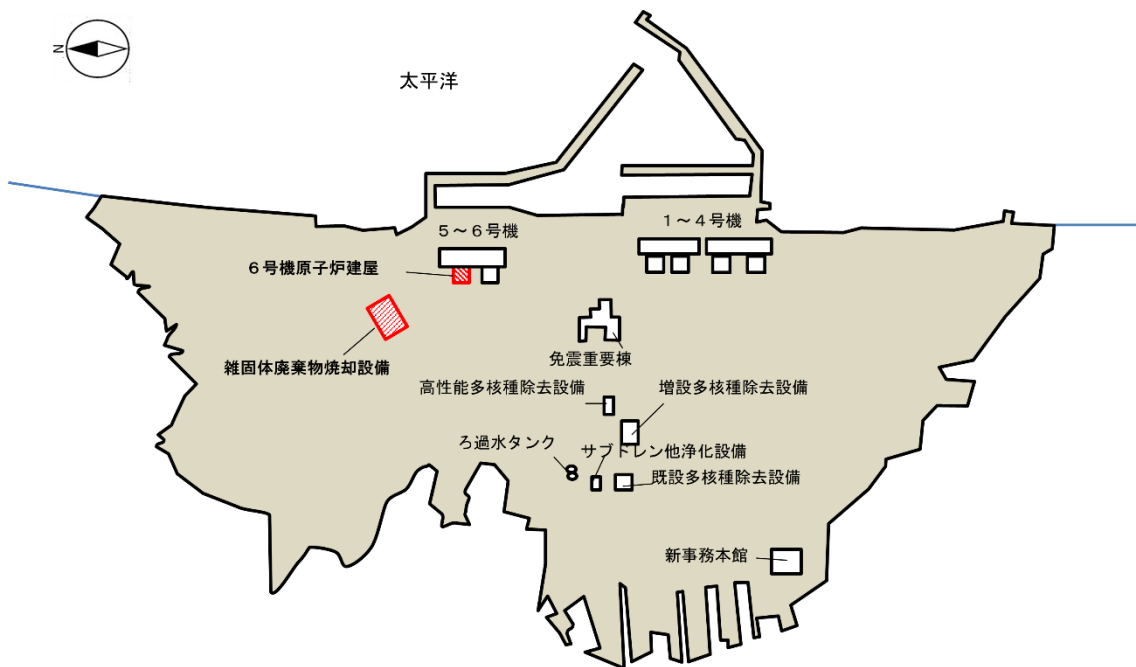
(2) 雑固体廃棄物焼却設備の現況

福島第一原子力発電所では、作業員が使用した装備品等（タイベック・下着類他）を雑固体廃棄物焼却設備により減容処理している。本日は雑固体廃棄物焼却設備の年次点検が実施されていることから、その状況を確認した。

（前回確認：令和6年10月3日）

- ・設備は年次点検のため運転を停止していた。（写真3）
- ・バグフィルタ^{*}の下部で灰搬送コンベアの点検が行われていた。点検に際しては、周囲を養生シートで囲い、汚染の拡大防止措置が講じられていた。（写真4）
- ・焼却炉の助燃剤（軽油）を貯蔵するタンクの点検に向けた準備作業として、タンクに残留している助燃剤の抜油作業が実施されていた。作業には東京電力の社員が立ち会っていた。（写真5）

※バグフィルタ：廃棄物を燃やした際に発生するばいじん（微細な灰や粉塵）を捕集するための装置。排ガスをフィルター（布製の袋（Bag）のようなもの）に通過させると、ばいじんが取り除かれる



（図 1）福島第一原子力発電所構内概略図



（写真 1 - 1）
地震計の設置状況①
（令和 5 年 6 月 5 日撮影）



（写真 1 - 2）
地震計の設置状況②
（令和 7 年 3 月 1 0 日撮影）



(写真 2)
地震計の設置状況③



(写真 3)
設備（焼却炉等）の設置状況



(写真 4—1)
灰搬送コンベアの点検状況



(写真 4—2)
汚染拡大防止措置の状況



(写真5—1)
抜油作業の状況①



(写真5—2)
抜油作業の状況②

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。